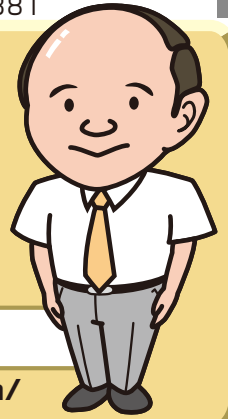




# 西野まさひと

活動報告号外



ハッキリ言います! 市政にひとこと!

【ホームページもみてね!】 <http://www.nishino1.com/>

■ 西野まさひと友の会では、4月14日に行なわれた日野市長選挙と日野市議会議員補欠選挙の結果を報告します。



4月14日に日野市長選挙及び日野市議会補欠選挙が行なわれました。日野市長には大坪冬彦氏が共産党推薦の中谷よしゆき氏を破り初当選を果たしました。市議補選では自民党推薦の鈴木洋子さんと民主党推薦の鈴木かつとよ氏が当選いたしました。

大坪冬彦氏は元市職員で健康福祉部長・まちづくり部長を歴任し、自民クラブ・民主連合・公明党の市議会三党派と無党派(社民党)で擁立され、馬場市長の後継として立候補しました。共産党を除く全ての政党からの支援を受けた大坪氏が8千票強の差をつけ勝利しました。

投票率はこれまでの市長選挙を大きく下回り、39.7%でした。これは、候補擁立が遅れたことと、全ての与党が相乗りとなったことで選挙戦の盛り上がりには欠けたためと思われます。

日野市議会議員補欠選挙では、今井議員のご逝去により、当初欠員1名でしたが、現職の共産党市議である中谷議員が辞職し市長選に出馬したため、急遽欠員2名を選挙となりました。新たな市長の基盤を強固にし、日野市の街づくりの発展のためにも、自民党からも候補の擁立の必要性に迫られるなか、告示直前に鈴木洋子さんが立候補の名乗りをあげました。

市議補選には他にも4名が立候補しましたが、9人の子育て経験を持つ鈴木さんの経歴と、自民党議員団の応援と支援者の尽力で、見事にトップ当選を果たし、はからずもごみ広域化に反対を掲げた3名が落選となりました。

これからの日野市を取り巻く状況は、高齢化社会へと加速し、社会保障の施策の比重が大きくなり、産業の発展をめぐり自治体間の競争も激化してまいります。福祉の現場を知り、街づくりの経験豊かな大坪新市長が誕生し、市長を支える議員の基盤も強化されたことは日野市にとって吉報です。微力ではございますが、私も市長を支える与党の一員として全力で取り組んでまいります。

日野市議会議員 西野正人

日野市長選挙結果		
大坪冬彦	31,442票	無新
中谷よしゆき	23,323票	無新
※日野市長選投票率 39.71% (前回46.58%)		
日野市議会補欠選挙結果		
鈴木洋子	17,305.189票	自推新
鈴木かつとよ	12,499.810票	民推元
かわぞえ務	10,408票	共産新
渡辺 眞	9,292票	維推元
あるが精一	4,044票	無新